

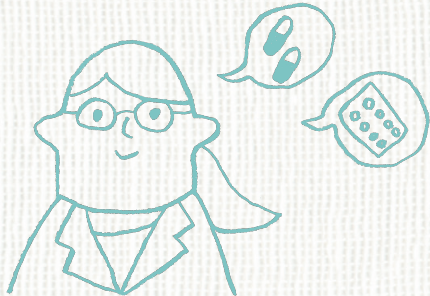
7

お医者さん以外にも、 相談できる人はいます

病気やけが、薬について相談できる専門家には、お医者さん以外にも、
薬剤師さんや看護師さんがいます。

もしお薬のことで質問や相談があれば、まずは身近な薬局や病院に
いる薬剤師さんに聞きましょう。薬剤師さんなら、お薬の飲み方や
効き目、注意することについてより専門的なアドバイスをすることが
できますし、市販のお薬についてもアドバイスができます。また、病
気やけがの間、どうやって過ごせばいいのかなどの療養方法^{りょうようほうほう}につい
ては、看護師さんに相談することで細かく聞くことができます。

お医者さん、薬剤師さん、看護師さんはいわば病気を治すためのチー
ムですから、お医者さんだけでなくそれぞれの専門に合わせた相談を
することで、早く的確^{てきかく}なアドバイスを受けることができます。



トピック

お医者さんがあぶない

日本中のすべての職業の中で、お医者さんが最も長時間働いていると
いうデータがあります^{※1}。もちろん、お医者さんは「患者を治したい」と
いう気持ちが強いので、疲れたからと患者を断ったりすることはありません。しかし、お医者さんといえども生身の人間^{なまみ}ですので、長時間
労働が続くと疲れて、うっかりミスが発生しやすくなったり、心身の
健康を損^{そこ}なったりすることもあります。

事実、全国のお医者さんにアンケートを取ると、医療事故^{いりょうじこ}につながり
かねない「ひやり」や「はっと」した経験があるお医者さんは77%
にも上っていて、働く時間の長いお医者さんほどその傾向^{けいこう}が強くなる
ことがわかっています^{※2}。

お医者さんが健康できちんとした診療ができることは、患者である子
どもや私たちにとっても大切なこと。私たち一人一人が適切な病院を
選んだり、休日や夜間の診療をなるべく避^さけることでお医者さんの負
担を減らしていきたいものです。



※1 総務省統計局「平成24年就業構造基本調査」によると、職業別週労働時間
60時間以上の雇用者割合は総数11.6%のところ、医師は38.1%と最も高い。

※2 労働政策研究・研修機構「勤務医の就労実態と意識に関する調査(2012年)」